



平成13年1月4日の竣工式



安原の
いま

総人口 4,567人 (前年比-53人) 【男 2,209人 女 2,358人】
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701

▶安原地区歴史研究会の視察研修。
写真は大鹿村にて。(H22.9.18)



祝・安原地区公民館開館20周年



▲毎年恒例の「安原地区文化祭・ひろば祭り」



◀サマーナイトフェスターN安原



◀「縄文探検隊」の取権祭



▲お味噌づくり講座 (H31.2.28)



▲冬の風物詩・もちつき大会



▲ドクターヘリ見学会 (H25.12.28)



▲チオノドクサ (雪の誉)



▲日本桜草



▲松本盲学校と落語で交流会 (R元.6.19)

▶第1回あさは野美りの音楽
フェスタ(H30.11.17)



しなの木教室を紹介

安原地区の東に位置する松本盲学校内に松本養護学校高等部「しなの木教室」があります。この教室は、生徒の特性やニーズに応じて社会参加に必要な知識、技能、態度、体力を養い、社会的自立ができることを目標に日々様々な活動に取り組んでいます。今回は、そんな活動の中からいくつかを紹介をします。

まず一つ目は、パン販売です。毎週木曜日に安原地区公民館で出来立てのパンを販売しています。パン作りから販売まで全て生徒が行っており、パンの種類が豊富で、どれもとても美味しいです。



色鮮やかな
マリーゴールド



▶花の苗植えをする
生徒たち



毎週木曜日の販売です

二つ目は、花壇整備です。安原地区公民館の駐車場の縁に色鮮やかなマリーゴールドが咲いています。春先、しなの木教室の生徒が苗を植え、時々雑草取りや水やりをしながら、大事に育てています。

最後に、PPバンドかごや水引、季節の飾りを手作りして、公民館で展示・販売しています。最近では、コロナウイルス疫病退散の意を込めて、アマビエを模した水引も種類豊富に取り揃えており、とても可愛らしいです。まだまだ他にも、たくさんさんの活動をしているので、また機会があれば紹介したいです。



▲アマビエを模した水引やPPバンド

▼松飾り

度、しなの木教室の活動に慣れてみてはいかがでしょうか。

編集後記

新型コロナウイルスに翻弄された令和2年度が終わろうとしています。さまざまな社会活動が制限され、公民館報編集委員会も試行錯誤の1年間でした。

徐々に活動が再開されてきたと思つたところに第3波の流行。開館20周年記念式典も中止となったため、今回は紙上で20年の歩みを振り返ってみました。いろいろなことが思い出されます。

いちよう並木

早春の名花 タツタソウ
名前の由来について
日露戦争当時、軍艦竜田丸の乗組員がシベリヤから持ち帰ったところから、この名がつけました。

原産地はシベリヤ東部から朝鮮半島に自生するメギ科タツタソウ属の多年草です。春まだ浅い時季、赤い新芽が群れ立つ中に花芽が現れ、次々と淡い紫色の5〜8弁の花が咲き、その後、葉が伸長、伸びた葉の下に花が見える頃、花期の終わりとなります。この時季の葉が糸巻きに似



令和2年度館報編集委員一同

1日も早い感染の収束を目指して、私たちもできることをやっています。

ているところから、別名イトマキノソウの名を持ちます。半日陰を好み、移植を嫌う植物で、根が多く鉢で育てる場合は根を痛めないように、一回り大きな鉢に植え替え、隙間に腐葉土を施し育てます。



極端に移植を嫌うタツタソウ

1年間「ぜんこうじみち安原」をご愛読いただきありがとうございました。来年度もより良い紙面作りに励みます。

【安原地区公民館報編集委員会】

- 委員長 辻 眞美子
- 副委員長 大和 靖
- 委員 鳥羽 啓路
- 委員 村山 昌夫
- 委員 山本 綾子
- 委員 中田 安子
- 委員 小林 伸子